



# 週間情報



No.0342

発行日 令和3年11月30日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 令和3年度全国消防長会役員会を開催

全国消防長会

令和3年11月11日（木）、書面会議で、令和3年度全国消防長会役員会を開催しました。役員会における議案審議事項、報告事項、決議等は、次のとおりです。

#### 【議案審議事項】

- 第1号議案 令和4年度消防財源の確保について
- 第2号議案 第45回全国消防職員意見発表会の開催について
- 第3号議案 第6回予防業務優良事例表彰について
- 第4号議案 次期役員会の開催について

#### 【報告事項】

- 1 これまでの新型コロナウイルス感染症に関する消防問題検討会の取り組み状況について
- 2 令和4年度国の予算概算要求等における措置状況について
- 3 フッ素化合物を使用する泡消火薬剤の生産体制の確保に関する申入れについて
- 4 令和4年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 5 「第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会」及び「日本臨床救急医学会全国消防長会推薦評議員連絡会」の開催について
- 6 第50回全国消防救助技術大会の日程等について
- 7 定年引上げに関する総務委員会の対応等について

#### 【配布資料】

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険について

各議案は、令和3年11月17日（水）、全会一致により承認を頂き可決されました。

### ◆ 令和3年度全国消防長会役員会の決定に基づく「消防関係予算の所要額確保に関する要望」を実施

全国消防長会

令和3年11月22日（月）、総務省等において、清水会長及び鍵本財政委員会委員長から金子総務大臣等に対して、令和3年度全国消防長会役員会（令和3年度11月11日書面開催）の決定に基づく「消防関係予算の所要額確保に関する要望」を実施しました。

実施当日は、金子総務大臣、黒田事務次官、内藤消防庁長官、谷自由民主党消防議員連盟事務局長等に直接お会いし要望書を手渡しました。

#### 【消防関係予算の所要額確保に関する要望】

新型コロナウイルス感染症が未だ感染の終息が見通せないなか、消防組織は国民の安全・安心を守るため消防行政を停滞させることのないように消防力を十分に確保する必要がある。

このような状況下においても、近年大規模な自然災害が発生するなど、災害は多様化・激甚化・頻発化しており、特に令和3年7月には東海地方から関東地方南部を中心とした記録的な大雨の影響により、静岡県熱海市において大規模な土石流災害等が発生し、多くの尊い命が失われるなど大きな被害が発生した。さらに今後首都直下地震や南海トラフ巨大地震の発生に伴う被害も懸念されている。

国においては、新型コロナウイルス感染症対策、緊急消防援助隊及び常備消防力の充実強化や、地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の更なる充実強化、消防防災分野のDXの推進、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍促進、防災情報の伝達体制の充実強

化など、国民の期待に的確に対応できるよう防災・減災対策に全力で取り組まれているところである。

しかし、地方財政は、新型コロナウイルス感染症による地方税収の減少や人口減少・少子超高齢社会の進展による社会保障費の増大など様々な課題を抱え、求められる財政需要は増加の一途をたどっており、引き続き厳しい状況であると言わざるを得ない。

については、消防力の基礎となる消防職員や消防車両を確保し、消防庁舎や消防水利等のインフラ整備を推進することはもとより、大規模災害やテロ災害等に的確に対応できるよう、特に次の事項について、強く要望する。

## 1 予算概算要求額の満額確保について

### (1) 熱海市土石流災害を踏まえた対応

熱海市土石流災害を踏まえて、土砂災害現場等の情報収集活動や救助活動に必要な資器材等の整備にかかる概算要求額5.9億円を満額確保すること。

### (2) 緊急消防援助隊・常備消防等の充実強化

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、緊急消防援助隊の充実・体制強化のための緊急消防援助隊設備整備費補助金及び無償使用制度等に係る経費、消防防災施設の整備の促進を図るための消防防災施設整備費補助金、消防の広域化等による常備消防の充実強化等に係る概算要求額72.8億円に加えて、事項要求の経費を満額確保すること。

### (3) 消防団や自主防災組織等の充実強化

社会環境の変化に対応した消防団の力向上モデル事業や消防団加入促進広報の実施、災害対応能力の向上を図るための救助資機材等の無償貸付、自主防災組織等の活性化への支援等に係る概算要求額8.1億円に加えて、事項要求の経費を満額確保すること。

### (4) 消防防災分野のDXの推進

被害情報収集・共有システム(仮称)の整備や火災予防分野における各種手続の電子申請等の推進、消防指令システムの高度化等に向けた検討に係る経費等の「ポストコロナ」時代におけるデジタル化の推進に係る概算要求額2.4億円に加えて、事項要求の経費を満額確保すること。

### (5) 被災地における消防防災体制の充実強化

東日本大震災により被害を受けた、消防防災施設・設備の早期復旧に必要な消防防災施設災害復旧費補助金等や原子力災害避難指示区域における大規模林野火災等に対する消防活動等の支援に係る概算要求額3.5億円(復興特別会計)を満額確保すること。

### (6) その他の消防活動に必要な経費について

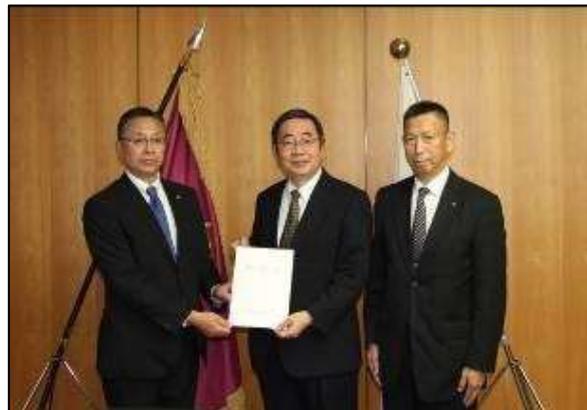
上記(1)~(5)のみならず、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍促進、地方公共団体の危機対応能力の強化並びに科学技術の活用による消防防災力の強化等、消防庁の概算要求額を満額確保すること。

## 2 地方交付税の所要額の確保について

消防機関が、消防活動を行う上で必要な財源となる地方交付税の所要額を確保すること。また、大規模災害等に備えるために必要な施設整備に支障が生じないように、緊急防災・減災事業債、防災対策事業債及び施設整備事業債(一般財源化分)の元利償還金に対する交付税措置を継続すること。



【左から、清水会長、金子総務大臣、  
鍵本財政委員会委員長】



【左から、清水会長、内藤消防庁長官、  
鍵本財政委員会委員長】

## ◆ 第70回全国消防長会危険物委員会を開催

## 全国消防長会危険物委員会

令和3年10月28日（木）、書面会議により実施しました。  
会議における議案等は次のとおりです。

### 【議案】

- 1 軽微な完成検査に係るオンライン実施について
- 2 行政手続きオンライン化に伴う移動タンク貯蔵所の備え付け書類の取扱いについて
- 3 第5類の危険物を移送する移動タンク貯蔵所に設ける消火設備について

### 【情報交換】

- 1 行政手続きのオンライン化の状況等について

### 【情報提供】

- 1 危険物行政の最近の動向について
- 2 石油コンビナート行政のうごきについて
- 3 消防研究センターの体制と事業概要について
- 4 一般取扱所で発生した粉塵爆発火災について
- 5 二方のみが開放された屋内給油取扱所に急速充電設備を設置した事例について
- 6 危険物保安技術協会の情報提供資料について
- 7 危険物災害防止対策推進のための消防機関支援事業等について
- 8 危険物取扱者試験の現況と受験者増加対策への取り組みについて

なお、これに先立って10月27日（火）、常任委員会（WEB会議）を開催しました。



【常任委員会の様子】

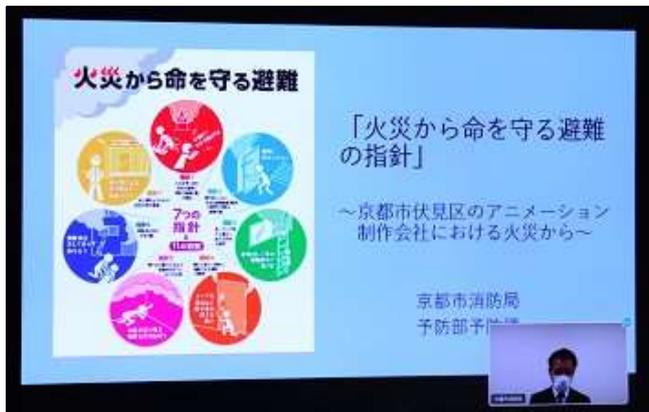
## ◆ 消防実務講習会（予防・広報講習）をWeb方式で開催

一般財団法人全国消防協会四国地区支部

一般財団法人全国消防協会四国地区支部では、令和3年11月5日（金）、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消防実務講習会（予防・広報講習）をWeb方式で開催しました。

当日は、京都市消防局予防部予防課長の松苗春夫氏から京都市のアニメーション制作会社における火災を契機に作成された「火災から命を守る避難の指針」について、同課違反処理担当主任の藤澤智也氏から「京都市における違反是正の現状」について、それぞれご講演いただきました。また、松茂町体育施設館長の川端順氏から、元プロ野球選手という経験を踏まえた「伝え方」についてご講演いただきました。

本講習を通じて得た新たな知識を、今後の立入検査や火災予防広報に活用してまいります。



【講習会の様子】



【川端順氏】

## 消防本部の動き

### 訓練・演習

## ◆ 「消防展示訓練～見て楽しむ消防Show～」を開催

宮古島市消防本部（沖縄）

宮古島市消防本部では、令和3年11月14日（日）、当消防本部構内において、市民を対象とした「消防展示訓練～見て楽しむ消防Show～」を開催しました。

これは、秋季全国火災予防運動期間中の行事として、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来場者の人数を制限するとともに、体験型ではなく、見て楽しんでもらう見学型として開催したものです。

内容は、消防長を先頭とした制服ファッションショー、助けてあげまショー（応急手当寸劇）、消防団員による放水ショー（小型ポンプ操法）等、趣向を凝らしたもので、子供から大人まで幅広く消防業務についてPRすることができました。

今後も、市民の安心・安全のため、さらなる市民サービスの向上を図ってまいります。



【展示訓練の様子】

## ◆ 首里城火災防御訓練を実施

### 那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和3年10月31日（日）の早朝、首里城公園において、首里城火災防御訓練を実施しました。

この訓練は、令和元年に発生した首里城火災を踏まえ、毎年、同火災が発生した日である10月31日に実施しているものです。

当日は、自衛消防隊、消防団も合わせた総勢300人体制で、自衛消防隊の火災覚知から初期消火、119番通報、「首里城警防計画」に基づく消火活動などを実施しました。

今後も、首里城正殿をはじめとした関連施設群の再建整備状況に合わせて首里城の警防計画を改正し、首里城公園管理者と連携・協力して首里城の防火対策に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 県内4地域MC協議会で合同シミュレーション訓練を実施

### 鹿児島市消防局（鹿児島）

鹿児島市消防局では、令和3年11月1日（月）、当消防局が事務局となっている薩摩地域MC協議会を含めた県内4地域MC協議会で合同シミュレーション訓練を実施しました。

本訓練は、通報者に対する口頭指導から現場活動までの一連の活動を完全ブラインド型で実施し、終了後に通信指令員や救急隊員が、指導救命士、救急指導医からの振り返りを受けることで、県内の救急活動のレベルアップを図るほか、コロナ禍における救急活動の注意点を共有することを目的として実施したものです。

当日は、各地域の救急指導医や救急隊員など79名が参加したほか、WEB配信を同時に行ったことで、離島を含めた県内6地域全てのMC関係者や救急隊員なども聴講することができ、訓練の効果をより一層高めることができました。

今後も、さらなる救急隊員のスキル向上を目指し、県内6地域全てのMC協議会を対象とした合同シミュレーション訓練の開催に向けて取り組んでまいります。



【訓練の様子】



【救急指導医からの評価の様子】

## ◆ NBC災害を想定した多数傷病者対応訓練を実施

### 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和3年11月2日（火）、消防車両12台、職員63名を動員し、NBC災害を想定した多数傷病者対応訓練を実施しました。

訓練は、休館日の体育館及び駐車場を利用し、列車内で何らかの物質により複数名の乗客が受傷したという想定で実施しました。

NBC災害活動時における初動から救出、除染、拡散防止、トリアージ、医療機関収容までの各隊の役割や部隊間の連携を確認しました。

今後も、さらなる部隊連携強化を図り、NBC災害をはじめ、各種災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 三者合同消防訓練を実施

### 笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

笠岡地区消防組合消防本部では、令和3年11月2日（火）、石油コンビナート等災害防止法に定める特別防災区域内の2事業所（JFEスチール株式会社西日本製鉄所（福山地区）、JFEケミカル株式会社西日本製造所笠岡工場）と三者合同消防訓練を実施しました。

当日は、同区域内において、地震により屋外タンクから危険物が漏洩して火災が発生したという想定で、総勢約80人が初動対応訓練、救助訓練、消火訓練を行い、各機関の連携強化を図りました。

今後も、関係機関相互の連携を深め、迅速、安全な災害対応ができるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 土砂災害対応訓練を実施

### 東京消防庁（東京）

東京消防庁警防部救助課即応対処部隊では、令和3年11月1日（月）から3日（水）までの3日間、第七方面訓練場において、土砂災害対応訓練を実施しました。

これは、今年7月に熱海市で発生した伊豆山土砂災害における活動を踏まえて実施したものです。

当日は、土砂崩れにより要救助者1名が頭部を除き土砂に埋もれているという想定で、土砂災害用遠隔監視装置を活用した安全監視体制のもと、埋没要救助者のための応急土留めやベルトコンベアを活用した土砂の排出等、土砂災害現場における実践的な訓練を実施しました。

訓練結果を踏まえ、今後、さらに訓練や研究を重ね、土砂災害現場における活動要領について、関係各部と連携して検討します。

今後も、土砂災害をはじめ、あらゆる災害に迅速・的確な活動が展開できるよう、災害対応力のさらなる強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 新宮市総合防災訓練を実施

### 新宮市消防本部（和歌山）

新宮市消防本部では、令和3年11月3日（水）、当市佐野（通称：新宮港緑地）で新宮市総合防災訓練を実施しました。

これは、近年発生が危惧される南海トラフ巨大地震などの大規模地震災害に備えて、防災関係機関との連携強化及び災害対応能力の向上を目的に実施したものです。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加を訓練実施機関のみとし、訓練の様については、YouTubeでライブ配信し、市民の防災意識の向上を図りました。

今後も、継続的に関係機関との連携訓練を実施し、「安心と安全を感じてもらえるよう信頼される消防」を目指してまいります。



【訓練の様子】



【動画 二次元コード】

## ◆ ドローンに関する合同訓練を実施

### 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部（福島）

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部では、令和3年11月4日（木）、会津三広域消防連絡協議会（喜多方地方広域市町村圏組合消防本部、南会津地方広域市町村圏組合消防本部及び会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部で構成）の3消防本部でドローンに関する合同訓練を実施しました。

訓練は、座学と実技の2部構成で実施しました。

座学では、公立大学法人会津大学の矢口准教授から、最新のドローン情勢及び消防防災分野での活用に関するお話をいただき、実技では、株式会社南進測量の職員から、飛行前の点検及び操縦の方法を指導いただきました。

今後も、地域住民の安全・安心のため、知識及び技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 東北自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練を実施

### 蓮田市消防本部（埼玉）

蓮田市消防本部では、令和3年11月5日（金）、蓮田市総合市民体育館パルシー多目的広場において、関係機関の連携強化を目的とした東北自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練を実施しました。

この訓練には、東北自動車道埼玉県消防連絡協議会会員である、さいたま市消防局、川口市消防局、埼玉東部消防組合消防局、羽生市消防本部、館林地区消防組合消防局、東日本高速道路株式会社関東支社加須管理事務所及び当消防本部の7機関と埼玉県警察本部高速道路交通警察隊の計8機関が参加しました。

当日は、管内にある蓮田サービスエリアにおいて、車が暴走してバスを含む車6台が関係する交通事故が発生し、歩行者も含め多数の負傷者が発生したという想定で、8機関70名が連携し、多数傷病者の救出救護等を実施しました。また、訓練をブラインド型としたことで、実災害に近い環境で、より緊張感のあるものとなりました。

今後も、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 三市消防本部合同水難救助勉強会を開催

### 羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和3年11月5日（金）、当市下中町石田にある羽島市防災ステーションにおいて、愛知県の一宮市消防本部及び稲沢市消防本部と初めて三市消防本部合同水難救助勉強会を開催しました。

これは、岐阜県と愛知県の県境を流れる木曾川での水難事故対応に、対岸の一宮市消防本部や稲沢市消防本部と連携して活動しているため、毎年、三市合同潜水訓練を実施していましたが、現場の多くの潜水土から基礎知識を再確認したいとの声を受け勉強会を開催したものです。

当日は、岐阜ダイビングセンター（岐阜市）の潜水指導員、田口泰三様に講師を務めていただき、26名が参加しました。



【勉強会の様子】

## ◆ 旧油井（手掘り石油井戸跡）からの救出訓練を実施

### 新潟市消防局（新潟）

新潟市秋葉消防署では、令和3年11月10日（水）、秋葉区塩谷地内の山中で旧油井（手掘り石油井戸跡）からの救出訓練を実施しました。

旧油井は、かつて日本一の出油量を誇った秋葉区（旧新津地区）の新津丘陵に江戸時代から明治中期にかけ人力で掘削され、今なお数多く点在しています。

訓練では、旧油井に誤って転落した要救助者を救出する想定で、救助用三脚を活用して山岳指定救助隊である当署救助隊、西蒲消防署救助隊及び消防局特別高度救助隊が連携しながら地上まで救出し、各隊の活動手順や連携要領を確認しました。

今後も、地域住民の安心と安全を守るため、訓練を継続してまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 洞道火災対応訓練を実施

### 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部（埼玉）

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部では、令和3年11月11日（木）、東京電力新座変電所において、洞道火災対応訓練を実施しました。

これは、平成28年10月12日に発生し、東京大停電による鉄道機関のマヒなど、大きな被害を及ぼした新座洞道火災の教訓から、事象を風化させないように、東京電力パワーグリッド志木支社と合同で毎年実施しているものです。

訓練は、和光市内の洞道において、送電ケーブルの絶縁破壊事故により火災が発生し、洞道内に作業員1名がいるという想定で実施しました。

訓練終了後は、フィードバックによる検証及び情報交換を行い、洞道内における火災発生時の役割について相互に確認し、大変有意義なものとなりました。



【訓練の様子】

## ◆ 日本最古といわれる道後温泉の周辺観光ホテルで「おもてなし」の防災訓練を実施

### 松山市消防局（愛媛）

松山市消防局東消防署では、令和3年11月11日（木）、秋季全国火災予防運動期間に合わせ、第6回道後温泉周辺地区合同防災訓練を実施しました。

その内容は、大規模災害発生時に、旅行者などが帰宅困難になった場合を想定し、観光地全体で助け合い、帰宅困難者を道後温泉周辺の宿泊施設で継続して受け入れる対応訓練です。

当日は、雨天でしたが多くの関係機関が参加し、アマチュア無線を使用した情報収集を行うなど、全国的にも先進的な訓練となりました。

今後も、道後温泉に来られる観光客の皆様にも、さらなる安心感を持っていただけるよう、地域一丸となって「世界一安全・安心のおもてなし」の防災対策を目指してまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 羽島郡広域連合消防技術競練会を実施

### 羽島郡広域連合消防本部（岐阜）

羽島郡広域連合消防本部では、令和3年11月15日（月）、羽島郡広域連合消防技術競練会を実施しました。

その内容は、「耐火建物1階より出火し2階へ延焼中。建物内に2名逃げ遅れあり。」という想定で、1小隊を7名で編成し、消火活動及び救助活動を行い、上階に逃げ遅れた要救助者2名を救出するものです。

各隊長の指揮のもと、迅速性及び確実性を競い合い、隊員は日頃の訓練成果を発揮しました。今後も、現場活動能力の向上を図り、住民の安全・安心を守ってまいります。



【競練会の様子】

## 研 修 等

### ◆ 外傷活動研修会（JPTECプロバイダーコース）を開催

#### 我孫子市消防本部（千葉）

我孫子市消防本部では、令和3年10月31日（日）、第1回我孫子市消防本部外傷活動研修会（JPTECプロバイダーコース）を感染防止対策に配慮しながら開催しました。

本研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響下においても救える命は救わなくてはならないという強い思いと、市内二次医療機関である名戸ヶ谷あびこ病院の高橋一昭医師のご協力により、県内でいち早く、消防本部単独開催を実現したものです。

病院前外傷救護活動において、JPTECの基本手技教育は不可欠であるため、今後も、感染防止に配慮しながら職員教育を進めてまいります。



【研修会後の記念撮影】



【研修会の様子】

## ◆ 防災講座を実施

### 志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、令和3年11月2日（火）、公益財団法人日本防災協会名古屋事務所長の奥村公司氏を講師に招き、防災講座を実施しました。

この講座は、火災発生への低減には防災品の普及が重要な要素であるため、防災についての制度、技術、効果等について学んだもので、会場型とリモート型を併用し、職員約70人が受講しました。

講座の中で講師は、防災品の使用により延焼拡大の遅延や火災初期活動の時間確保に期待ができると述べており、防災品の重要性を再認識することができました。

今回の講習を今後の査察等で生かし、火災予防に努めてまいります。



【防災講座の様子】

## ◆ 火災図上訓練（F I G）講習会を実施

### 多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和3年11月5日（金）、火災図上訓練（F I G）講習会を実施しました。

火災図上訓練（F I G）とは、事業所が建物の平面図を使用し、火災が発生したときの行動について話し合う消防訓練のことです。

従来の消防訓練では、同じシナリオに陥りやすいため、図上訓練を実施することで従業員一人一人が事業所全体の防火管理について考えるきっかけになります。

今後も、多くの事業所に参加していただき、職場の実態にあった火災予防を従業員全員で考える一助となるように継続開催してまいります。

○火災図上訓練（F I G）の概要と実施方法説明用動画

URL：<https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/kakuka/syoubousoumu.html>



【講習会の様子】

## ◆ 病院・社会福祉施設に対して防火に関するオンライン研修を実施

### 湖西市消防本部（静岡）

湖西市消防本部では、令和3年11月9日（火）、秋の火災予防運動に当たり、病院や社会福祉施設等の自力避難困難者入所施設に対し、過去の火災事例、防火管理及び消防設備等の維持管理に関するオンライン研修を実施しました。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの立入検査が困難な施設に対して実施したものです。

各施設には、事前に自主検査チェック表による検査を依頼し、電話での指導を実施した上で受講していただきました。

今後も、こうした事業所等に対して効果的な防火指導が実施できるように努めてまいります。



【オンライン研修の様子】

## その他

## ◆ 予防技術資格者認定式及び違反是正アドバイザーの消防長申告を実施

### 厚木市消防本部（神奈川）

厚木市消防本部では、令和3年11月2日（火）、予防技術資格者認定式を実施しました。

これは、新たに2人の消防用設備等専門員を認定し、消防長から認定証と標示章を交付したものです。

また、同式典後には、当消防本部から初めて都道府県違反是正支援アドバイザーに登録された予防課職員が消防長申告も実施しました。

3人は、消防長から訓示を受け、資格者としての責務と火災予防に対する決意を再確認する機会となりました。

今後も、建築物の大規模化、複雑化等に伴い、職員の予防技術の高度化を図り、火災件数の減少と違反是正率の向上を目指してまいります。



【認定式の様子】



【標示章交付の様子】

## ◆ 防火啓発ポスターコンクール表彰式を開催

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、令和3年11月3日（水）、防火啓発ポスターコンクール表彰式を開催しました。

これは、市内の小学校児童が作成した防火啓発ポスター78作品の中から高学年の部と低学年の部で最優秀賞が2作品、各学年の部で優秀賞が6作品、合計8作品を選考し、この受賞者に対して消防長から表彰状と記念品を贈呈したものです。

高学年の部で最優秀賞に選ばれた作品は、防火啓発ポスターとして市内の事業所等に配布し、防火啓発広報に活用します。

今後も、このような行事を通じて、学童期における火災予防に関する意識の高揚を図り、安心・安全なまちづくりを目指してまいります。



【表彰式後の記念撮影】



【防火啓発ポスター】

## ◆ 郵便局車両による広報を実施

仙台市消防局（宮城）

仙台市消防局では、令和3年11月1日（月）から15日（月）までの2週間、郵便局車両による広報を実施しました。

内容は、消防と同じ赤をシンボルカラーとする郵便局の協力を得て、市内全域の郵便局車両に火災予防運動のマグネットシートを掲示したもので、そのデザインは、切手を模しており、郵便物とともに市内にくまなく届く高い広報効果を期待したものです。

初日には、消防局長から市内の郵便局を代表して仙台中央郵便局長に対し、マグネットシートを交付する出発式を行いました。



【出発式の様子】



【郵便局車両への掲示】

#### ◆ 現場の声を生かして開発していた布担架が商品化されました！

西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

令和3年10月31日（日）、西胆振行政事務組合消防本部が現場の声を生かして開発していた布担架が商品化されました。

これは、構想から5年、現場で活動する隊員の意見を取り入れながら、専門業者の協力を得て、何度も試作と改良を重ねて完成したものです。

特徴は、①オリジナルの形状とした傷病者保持ベルト、②安全性の向上と現場滞在時間の短縮を図るために設けた肩ベルト等収納ポケット、③頭部裏側の傷病者の気道負担を軽減する持ち手、④救急車内での静脈路確保時の腕をサポートする形状と機能、⑤現場活動に応じた強度、⑥メンテナンスに適した素材など、実用に即したさまざまな工夫が盛り込まれています。



【布担架の様子】

#### ◆ 防火ポスターを募集し、広報媒体を製作

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和3年11月1日（月）、防火ポスターを募集し、広報媒体を製作しました。

防火ポスターの募集は、管内の小学校4年生を対象に行い、40校から1,207作品の応募があり、入選40作品を選出しました。この募集は、児童の防火意識の高揚を図るために平成5年度から行っており、今回で28回目となりましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止となったため、2年ぶりの実施となりました。

応募作品は、個性豊かな力作揃いで、火災予防に対する児童の思いが伝わるものばかりでした。

この入選作品のうち、最優秀賞1作品と優秀賞7作品をもとにデザインしたポスターやポケットティッシュ、メモ帳などを製作しました。

今後も、火災が多く発生する冬季に向け、火災予防を広く住民に啓発するとともに、「だいじな命」を守る取り組みを進め、地域の安心・安全を支えてまいります。



【防火ポスター最優秀賞作品】



【製作したポケットティッシュとメモ帳】

## ◆ 常滑市消防本部公式Instagramの本格運用を開始！

### 常滑市消防本部（愛知）

常滑市消防本部では、令和3年11月1日（月）、公式Instagramの本格運用を開始しました。

たくさんの方々に当消防本部を知ってもらえるよう、訓練の様子、イベントや防災に関する事など、当消防本部に関する魅力や情報を発信しています。

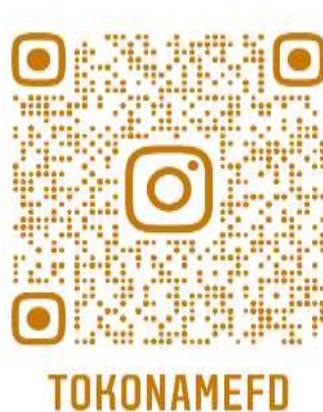
ぜひ、皆様にもフォローしていただき、当消防本部の活動を応援いただければ幸いです。

今後も、さまざまな情報を発信し、消防を身近に感じてもらうよう、広報活動を行ってまいります。

URL：<https://www.instagram.com/tokonamefd/>



【Instagramの宣伝画像】



【二次元コード】

## ◆ 火災予防広報等の連携協力に関する協定を締結

### 尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和3年11月1日（月）、秋の火災予防運動に合わせて大型商業施設のイオンモール長久手と火災予防広報等の連携協力に関する協定を締結しました。

この協定で、店舗のデジタルサイネージの活用やのぼり旗の設置のほか、イベント会場の借用が可能となり、早速、11月6日（土）から30日（火）まで、防火作品展を開催し、火災予防の啓発を図りました。

この防火作品展は、管内の小学5、6年生から応募のあった防火作品のうち、最優秀賞（消防長賞）5点と優秀賞（消防署長賞）60点を同施設のフードコートに展示したものです。

当消防本部では、本協定のほか8事業所と同様の協定を締結しています。



【協定締結の様子】



【防火作品展の様子】

## ◆ 移動タンク貯蔵所等に対する立入検査を実施

### 新城市消防本部（愛知）

新城市消防本部では、令和3年11月4日（木）、新東名高速道路新城インターチェンジにおいて、愛知県、新城警察署、NEXCO中日本が合同で移動タンク貯蔵所等に対する立入検査を実施しました。

この立入検査により危険物の移送又は運搬中における、災害の発生を未然に防止するための啓発及び各機関との連携強化を図ることができました。

今後も、各機関と協力し、危険物災害の未然防止を推進してまいります。



【立入検査の様子】

## ◆ 2021ステアーレース138全国大会を開催

### 一宮市消防本部（愛知）

一宮市消防本部では、当市の市制施行100周年記念事業として、令和3年11月6日（土）、2021ステアーレース138全国大会を開催しました。

当日は、晴天に恵まれ、全国から128名の消防職員及び消防団員が参加し、当市のシンボルタワーである「ツインアーチ138」の513段の屋外階段を駆け上がり、地上約100mの展望台に到着するまでのタイムを競いました。消防フェア「きて・みて・たいけん138」が同時開催されていたこともあり、会場である138タワーパークには、家族連れなど9,000人以上の来園者が訪れ、選手が階段を駆け上がる様子を大きな拍手で応援していただきました。

防火衣と空気呼吸器を着装した消防職員の総合優勝は、3分45秒で愛知県犬山市消防本部の遠藤一也選手、防火衣と空気呼吸器着装なしの消防団員の総合優勝は、3分36秒で愛知県一宮市消防団の石原悠吏選手でした。



【ステアーレースの様子】



【表彰式の様子】

## ◆ 「電子レンジの火災危険」についての動画を作成

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局南消防署では、電子レンジの火災危険をテーマとした3作目の動画を制作し、令和3年11月8日（月）から名古屋市公式YouTubeチャンネル「まるはっちゅ〜ぶ」に掲載しています。（1作目は「天ぷら油火災」、2作目は「消毒用アルコールの火災危険」についての動画を制作しました。）

動画の内容は、電子レンジの誤った使用方法や、過度に加熱することの危険性についてお伝えしています。

実際に「肉まん」、「さつまいも」、「アルミホイル」を長時間加熱し、電子レンジから炎が噴き出す映像をご覧ください。

本動画は、YouTubeだけでなく、名古屋市消防局公式Instagram・Twitterでもご覧いただくことができます。

今後も、火災予防の普及啓発のため、さまざまな動画を制作・発信してまいります。



【動画サムネイル】



【動画 二次元コード】

## ◆ オリジナル貯金缶の制作及び寄贈に対し、感謝状の贈呈式を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和3年11月8日（月）、オリジナル貯金缶の制作及び寄贈に対し、感謝状の贈呈式を実施しました。

当消防局では、住宅用火災警報器の維持管理を促進する目的で、毎年11月10日を「イイテンケンの日」と制定しています。

これに伴い、市民に広報し、住宅用火災警報器の点検実施を促進するため、ユニバーサル製缶株式会社岡山工場様のご協力により、オリジナル貯金缶を制作・寄贈していただいたことから、この功績に対して感謝状を贈呈したものです。

オリジナル貯金缶は、11月20日（土）に実施した「消防わくわく体験」に参加した子どもたち先着180人に配布しました。

今後も、住宅用火災警報器の点検率の向上に取り組んでまいります。



【感謝状贈呈式後の記念撮影】



【オリジナル貯金缶】

## ◆ 東京2020オリンピック競技大会金メダリスト上野由岐子投手に一日消防局長を委嘱 高崎市等広域消防局（群馬）

高崎市等広域消防局では、令和3年11月9日（火）、秋季全国火災予防運動の実施に当たり、東京2020オリンピック競技大会ソフトボール競技において大変活躍され、大きな感動と勇気を与えてくださったビックカメラ高崎の上野由岐子投手に一日消防局長を務めていただき、火災予防の啓発活動を行いました。

上野投手には委嘱状交付式後、たかさき消防共同指令センターでの対応、警防活動の訓練、救急シミュレーション訓練、高崎駅構内での火災予防啓発グッズの配布まで、広い守備範囲に渡ってご活躍いただきました。

中でも火災予防啓発グッズの配布時は、上野投手の丁寧な啓発グッズの手渡しに、多くの通行人が足を止めていました。

上野投手の「油断が一番危ないですし、毎日当たり前のようにやっているからこそ忘れてしまうことがたくさんあるので、アピールすることで少しでも火災や事故が減っていけばよい」との言葉に、我々消防職員も身の引き締まる思いでした。



【委嘱状交付式の様子】



【火災予防啓発活動の様子】

## ◆ 防火ぬり絵イベントを実施

### 埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和3年11月9日（火）、秋の火災予防運動に合わせて、防火ぬり絵イベントを実施しました。

これは、管内の幼稚園、保育園等の園児に防火ぬり絵を依頼し、園内や店舗に展示するものです。

イベントには、69園2,186人が参加し、このうち店舗展示の希望があった作品851枚を管内の大型商業施設へ展示しました。

このイベントで、幼少期における防火思想の普及を図るとともに、自由な発想によって彩られた鮮やかな防火ぬり絵を通して、ご家族や地域の方々へ火災予防を呼びかけました。



【制作の様子】



【店舗展示の様子】

◆ 「火の用心！ マッチ一本火事のもと！」 滝沢沙織一日消防長の発声！

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、令和3年11月9日（火）、秋の火災予防運動の初日に長野県出身の女優、滝沢沙織さんを一日消防長にお招きし、一日消防士への委嘱書の交付や市民に対して火災予防のメッセージを発信しました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、滝沢沙織一日消防長には、長野危険物・防火管理協会の会員事業所から推薦された5名の一日消防士とともに、電気火災や消毒用アルコールの危険性を体験していただき、自身の体験から「火の用心、マッチ一本火事のもと！」と力強く火災予防の広報を実施していただきました。

今後も、さらなる防火意識の高揚を図るため、あらゆる機会を捉えて火災予防広報を実施し、安全で安心して暮らせるまち「ながの」の実現に努めてまいります。



【任命式後の記念撮影】



【火災予防のメッセージ発出の様子】

◆ 豊田大谷高校ダンス部と連携した火災予防啓発動画を公開

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部は、令和3年11月9日（火）、豊田市公式YouTubeで、豊田大谷高校ダンス部と連携した火災予防啓発動画を公開しました。

これは、高校生への火災予防の啓発のため、豊田市高校生消防クラブ（高校生が防火防災に関する基本的な知識を学び、各校の防火防災リーダーとして同世代の高校生に情報を発信することで、多くの高校生の防火防災意識が向上することを目的とする。）のメンバーである豊田大谷高校ダンス部と連携し、ダンスを通して当消防本部のさまざまな施設を紹介するとともに、字幕で火災予防を啓発する動画を制作したものです。（動画の尺は3分40秒）

動画は、高校生が親しみやすい内容となっています。ぜひ、ご覧ください。



【撮影の様子】



【動画 二次元コード】

## ◆ 名阪近鉄バス 119号車出発式及び火災予防啓発活動を実施

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合中消防署では、令和3年11月9日（火）、名阪近鉄バス119号車出発式及び火災予防啓発活動を実施しました。

これは、名阪近鉄バス株式会社（大垣市）がナンバープレート「119」のバスを新たに導入したことに伴い、11月9日から15日まで実施する令和3年秋季全国火災予防運動の火災予防啓発活動を名阪近鉄バス株式会社と合同で実施したものです。

火災予防啓発活動では、大垣市内をバスと消防車で巡回し、火災予防広報を実施したほか、中消防署前では通行車両に対して住宅用火災警報器の設置を呼び掛けました。

今後も、民間企業との連携を強化し、防火対策の強化を図ってまいります。



【出発式の様子】



【火災予防啓発活動の様子】

## ◆ 予防広報車「防カルくん号」の運用を開始

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、「119番の日」にちなんで令和3年11月9日（火）、予防広報車「防カルくん号」の運用を開始しました。

当消防本部では、住宅用火災警報器の設置義務化から10年を迎え、取り替え及び点検について重点的に広報を行っています。今回、予防広報車の更新に合わせて、当市保安防火協会の協力のもと、車両に住宅用火災警報器の広報イラストをラッピング施工しました。

イラストは、当消防本部オリジナルキャラクター「防カルくん」が住宅用火災警報器の設置及び点検を促すデザインとなっており、市内を駆け回り住宅用火災警報器の設置率向上及び適正な維持管理を呼び掛けてまいります。



【車両側面に施工したラッピングデザイン及び点検啓発ポスター】



【車両後部デザイン】

## ◆ 119番の日に「もみみん」の着ぐるみと動画を公開

### 広島市消防局（広島）

広島市消防局では、令和3年11月9日（火）の119番の日に「もみみん」の着ぐるみと動画を公開しました。

当消防局では、令和3年3月にマスコットキャラクター「もみみん」を制作したところです。この度、より効果的な広報活動を行うため、「もみみん」の着ぐるみを作成しました。着ぐるみは、119番の日に広島市公式YouTubeチャンネルで公開した、救急に関する119番通報要領の動画「教えてもみみん」とともに、報道機関に対してお披露目しました。

今後も、「もみみん」を活用し、防火・防災活動の普及啓発に努めてまいります。

「教えてもみみん」のほか、広島市消防局PR動画「広島ノ消防隊」も併せてご覧ください。

○119番通報要領の動画「教えてもみみん」

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=xXn6rTU9lnE>

○広島市消防局PR動画「広島ノ消防隊」

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=dixIHHPVxy4>



【動画「教えてもみみん」の様子 ※右側の写真左下に動画二次元コード】

## ◆ 東消防署長による特別立入検査・デジタルサイネージを活用した火災予防広報を実施

### 徳島市消防局（徳島）

徳島市消防局では、秋季火災予防運動に当たり、令和3年11月9日（火）、宿泊施設における防火安全対策の徹底を図るため、桐本東消防署長による特別立入検査を実施しました。また、今回の新たな取組みとして、火災予防運動期間中に市内に設置されているデジタルサイネージに住宅用火災警報器の啓発画像を掲載し、火災予防広報を実施しました。

今後も、コロナ禍に対応した新たな方法を取り入れながら、市民に分かりやすい「伝わる」広報を目指して取り組んでまいります。



【特別立入検査の様子】



【デジタルサイネージを活用した火災予防広報の様子】

## ◆ 住宅用火災警報器の寄贈式及び感謝状贈呈式を実施

四国中央市消防本部（愛媛）

四国中央市消防本部では、令和3年11月9日（火）、四国中央市役所において住宅用火災警報器の寄贈式及び感謝状贈呈式を実施しました。

これは、四国中央市危険物安全協会が実施する「社会公共の安全・福祉増進事業」により、市内の一人暮らし高齢者宅を対象に、住宅用火災警報器200個が寄贈されたことから、寄贈式及び感謝状贈呈式を実施したものです。

これを受け、秋季全国火災予防運動中に各地区民生委員と協力し、消防職員が住宅を訪問して住宅用火災警報器の設置状況を調査の上、設置又は設置後10年経過している警報器については交換を行いました。

今後も、福祉関係者や関係団体と協力し、住宅防火対策の強化を図るとともに、市民の安心・安全の確保に努めてまいります。



【感謝状贈呈式後の記念撮影】



【住宅訪問の様子】

## ◆ 埼玉パナソニックワイルドナイツ内田啓介選手に一日消防署長を委嘱

太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部では、令和3年11月13日（土）、ラグビー埼玉パナソニックワイルドナイツの内田啓介選手に一日消防署長を委嘱し、火災予防・防火宣伝を行いました。

内田選手には、大型ショッピングモールにおいて、各店舗従業員の方や来店されたお客様に対して火災予防啓発グッズを配り、防火広報を行っていただきました。

また、初期消火体験や梯子車搭乗を通じ、多くの方に対して火災予防を呼び掛けていただき、火災予防思想の普及を図ることができました。

今後も、火災予防思想のより一層の普及に努めてまいります。



【火災予防啓発グッズ配布の様子】



【初期消火体験の様子】

## ◆ おしぼりでの火災予防啓発

### 塩谷広域行政組合消防本部（栃木）

塩谷広域行政組合消防本部は、秋季全国火災予防運動中の令和3年11月15日（月）、火災予防啓発広報用品のおしぼりを作成し、構成市町2市2町の商工会を通して飲食店に配布しました。

このおしぼりは、「マスク 手洗い 火の用心」、「点検しましょう！住宅用火災警報器」、「火災も 感染症も 予防が重要」を包装フィルムに印刷した紙おしぼりで、229の飲食店に配布しました（1店舗当たり約150枚配布）。

火災と感染症の対策として予防の重要性と、住宅用火災警報器の設置が義務化してから10年以上経過したことによる点検の重要性を、テイクアウト事業が多くなっている機会に飲食店を通して住民に広報できることを期待しています。



【おしぼり】



【商工会へ配布後の記念撮影】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 医薬類似行為等に係る消費者事故等の通知について

（消安全第346号、消防総第664号、令和3年11月8日）

消費者庁消費者安全課長、消防庁総務課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防機関（消防組織法（昭和22年法律第226号）第9条に規定する機関をいう。ただし、消防団を除く。以下同じ。）の収集した消費者事故等に係る情報の運用については、「消費者事故等の通知について」（平成22年3月31日付け消情報第82号、消安全第78号、消防総第239号。）及び「「消費者事故等の通知について」の一部改正等について」（平成27年9月25日付け消防政策第346号、消安全第265号、消防総第615号。）によりお願いしているところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/211108\\_soumu\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/211108_soumu_1.pdf)) に掲載されています。

(問い合わせ先)

消費者庁消費者安全課

課長補佐：三宅、係長：石井

TEL 03-3507-9201/FAX 03-3507-9290

消防庁総務課

課長補佐：小林、係長：四維

TEL 03-5253-7506/FAX 03-5253-7531

## 報道発表

### ◆ 仮面ライダー50周年記念映画「仮面ライダー ビヨンド・ジェネレーションズ」とタイアップした住宅用火災警報器の維持管理広報ポスターの作成

(令和3年11月16日、消防庁)

消防庁では、東映株式会社の協力を得て、12月17日(金)より全国の映画館で公開予定の仮面ライダー50周年記念映画「仮面ライダー ビヨンド・ジェネレーションズ」とタイアップした住宅用火災警報器の維持管理広報ポスターを作成し、全国の都道府県、消防本部へ配布することにより、住宅用火災警報器の適切な維持管理(点検・交換)の促進を図ります。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211116\\_yobou\\_2.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211116_yobou_2.pdf))に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁予防課

栞原補佐・佐藤係長・河野事務官

電話：03-5253-7523(直通)

F a x：03-5253-7533

### ◆ 「畜舎における消防用設備等の特例基準のあり方に関する検討部会報告書」の公表

(令和3年11月16日、消防庁)

消防庁では、畜産業の国際競争力の強化を図ることを目的とした「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律」の成立(令和3年5月)に合わせ、「畜舎における消防用設備等の特例基準のあり方に関する検討部会」において、安全の確保を前提に、畜舎における消防用設備等の統一的な特例基準のあり方について検討してきました。

このことについて、今般、報告書がとりまとめられましたので公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211116\\_yobou\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211116_yobou_1.pdf))に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課 千葉、羽田野、田中

TEL：03-5253-7523(直通) FAX：03-5253-7533

## 情報提供

### ◆ 第33回全国消防本部対抗駅伝大会の開催について

東京消防庁陸上競技部会

東京消防庁陸上競技部会では、全国の消防本部等の同好者との交流を図り、相互の理解を深め、今後の消防業務に資することを目的として、恒例の全国消防本部対抗駅伝競走大会を、下記のとおり開催いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 1 大会名等

第33回全国消防本部対抗駅伝大会

#### 2 日時等

(1) 令和4年2月26日(土)

(2) 受付 11時00分(河川敷内スタート付近)

(3) 開会式 12時00分(河川敷内スタート付近)

(4) スタート 12時30分

(5) 閉会式 15時30分(河川敷内スタート付近)

### 3 競技実施方法

東京都江戸川区小松川一丁目荒川右岸河川敷付近（上流へ向かって走る周回コース）

（1区間5.0Km×4区間）

スタート・中継及びゴールは、荒川右岸河川敷、都営新宿線高架下南側付近となります。

※申し込み後にコース図等の案内をメール返信します。

### 4 チーム編成

正選手4名、補欠1名、監督1名（監督は、選手を兼ねることが出来るものとします。）

各消防本部とも、男子チーム、女子チームともに1チームまでとします。

（新型コロナウイルス感染を考慮して少人数での参加をお願いします。）

### 5 申込み方法

#### (1) 大会申込書（選手名簿）の提出

所定の申込様式に必要事項を記入のうえ、メールにて送信してください。

※申し込み様式が必要の方は下記メールにその旨わかるように送信してください。

様式を返信します。

（新型コロナウイルス感染・安全面を考慮して、概ね50チームで締め切りとします。）

#### (2) 申込み先

メールアドレス [nqf17037@nifty.com](mailto:nqf17037@nifty.com)

#### (3) 申込締切日

令和4年1月30日（日）※ 期限を厳守してください。

#### (4) 参加申込みをされた消防本部には、メールを返信しますので、1週間経過しても返信がない場合は、ファクス等により確認をお願いします。

### 6 参加料

1チーム15,000円（ナンバーカード代及び傷害保険代、自動計測委託費用を含む。）

### 7 表彰

#### (1) 団体賞

チーム単位とし、1位から3位までトロフィー、メダル、賞状、4位から10位まで楯、賞状を授与します。

#### (2) 個人賞

ア 周回ごとの最高記録者に区間賞を授与します。

イ 最優秀選手1名に最優秀選手賞を授与します。

ウ 参加者全員に参加賞を贈呈します。

### 8 その他

#### (1) 参加費の振込みについて

ア 参加費は、東京消防信用組合本店・普通口座・口座名「陸上競技部会2」

口座番号0515151（東京都千代田区大手町1-3-5）に振り込みをお願いします。

振込み期限は、令和4年1月31日（月）としますので、期限を厳守してください。

郵便局以外の金融機関ならば、どちらからでも振り込み出来ます。

※振込み者名は消防本部名をお願いします。

イ 納入された参加料等は、準備の都合上、不参加の場合でも、一切返金致しかねますので予めご了承ください。

#### (2) ナンバーカード・たすきは、大会事務局で準備いたします。

#### (3) 問い合わせ等は担当の下記メールにてお願いします。

#### (4) 競技結果は現地で配布又は申し込み担当者へメール送信します。

【連絡先】東京消防庁陸上競技部会

担 当：菅原 孝幸（すがわら たかゆき）

メー ル：[nqf17037@nifty.com](mailto:nqf17037@nifty.com)

F A X：045-743-6873

携帯電話：090-2239-3253

## ◆ 第40回全国消防殉職者慰霊祭の映像送信について

公益財団法人日本消防協会

当協会では、防災の任務を遂行中、不幸にして尊い犠牲となられた全国消防殉職者及び消防協力殉難者の慰霊祭を執り行い、その功績を称え、御霊に深甚なる敬意と感謝の誠を捧げるとともに、喪心よりご冥福をお祈りすることを目的として、昭和57年から毎年「全国消防殉職者慰霊祭」を開催しております。

今年も、総務省消防庁の後援により、9月28日（火）に「第40回全国消防殉職者慰霊祭」を執り行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で参列者数を大幅に縮小しましたが、その映像を送信することとなりましたのでお知らせします。

### 1 映像送信媒体

一般財団法人 自治体衛星通信機構 地域衛星通信ネットワーク

### 2 映像送信日時

- (1) 令和3年11月30日（火）10時00分から10時40分
- (2) 令和3年12月7日（火）10時00分から10時40分
- (3) 令和3年12月14日（火）10時00分から10時40分
- (4) 令和3年12月21日（火）10時00分から10時40分

### 3 番組時間

40分

### 4 使用チャンネル

1チャンネル

### 5 動画配信

（一財）自治体衛星通信機構のホームページ（消防チャンネル）からも視聴できます。

<http://www.lascom.or.jp/movie/shobou/>

#### 【問合せ先】

公益財団法人日本消防協会

福祉部 宮川・安曾

TEL: 03-6263-9604 FAX: 03-6263-9863

E-mail: [aso@nissho.or.jp](mailto:aso@nissho.or.jp)

## ◆ 令和3年度予防技術講習会の開催案内について

主催：日本消防検定協会

協賛：全国消防機器協会

予防技術講習会の開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症対策につきまして、万全を期すこととしております。何かとご不自由をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 1 東京会場

開催日 令和4年2月14日（月） 13時30分～16時30分

場 所 アルカディア市ヶ谷 富士の間（3階）

### 2 大阪会場

開催日 令和4年 2月18日（金） 13時30分～16時30分

場 所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 バンケット3A（3階）

### 3 プログラム

時間	講演内容（予定）	講師（予定）
13:30～13:35	挨拶	日本消防検定協会理事長
13:35～14:20	予防行政の動向（その1） 住宅防火対策の推進等	消防庁予防課担当官
14:20～15:05	予防行政の動向（その2） 違反是正及び防火管理制度関係	消防庁予防課担当官

15:05～15:15	休憩	
15:15～16:00	予防行政の動向（その3） 消防用設備等に係る技術基準関係	消防庁予防課担当官
16:00～16:30	検定業務等に関する情報提供	日本消防検定協会担当者

- 4 対象者  
消防本部等（都道府県を含む。）において、主に予防事務に従事されている職員の方を対象とします。
- 5 参加費用  
受講料は、無料です。  
※ 交通費、宿泊費等は、ご負担をお願いします。
- 6 定員  
東京会場 150名  
大阪会場 150名
- 7 申込方法など  
予防技術講習会のご案内は、全国消防機器協会ホームページ(<https://www.nfes.or.jp>)に掲載しています。  
なお、受講申込につきましては、1月28日（金）までをお願い致します。  
※ 予防技術講習会で配付予定の資料の配付希望も受け付けています。  
※ 例年実施しております講習会終了後の「予防技術情報交換会」につきましては、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、開催を中止させていただくこととしております。

#### ◆ 第4回通信指令シンポジウムの開催案内について

主催：第4回通信指令シンポジウム実行委員会

後援：総務省消防庁／全国消防長会

- 1 大会テーマ  
「新型コロナ時代の通信指令」～消防の最前線を担う通信指令のあり方～
- 2 目的  
本シンポジウムは、消防の通信指令における稀な事案の経験、業務改善の取り組み、研究によって得られた知見等について、発表し、聴講し、そして議論する場を提供することによって、消防通信指令業務の高度化を図り、もって、国民の生命、財産を守るわが国の消防業務の発展を図ることが目的です。
- 3 実施日  
令和4年2月12日（土）11:00～18:00
- 4 開催形態  
オンライン開催・後日オンデマンド配信（後日すべての会場の講演・パネルディスカッション・一般演題の視聴可能）
- 5 対象者  
通信指令員、その他消防職員、自治体関係者、医療関係者、通信指令機器取扱業者、通信指令業務に関心がある者
- 6 申し込み方法  
次のホームページの申し込みフォームから、シンポジウムへの参加申し込みをお願いいたします。<https://tushinsinpo4.com>
- 7 参加費  
4,000円（プログラム抄録集1部送料込み）  
なお、参加費については、参加申し込み時に、銀行振込又はクレジットカード決済を選択し、手続きを行っていただきます。
- 8 開催スケジュール（プログラム編成については、変更となる場合もあります。）  
11:00～12:00 午前の部  
開会式、講演  
12:00～13:00 昼休憩

13:10～17:40 午後の部

①パネルディスカッション

②一般演題

③講演

- 9 プログラム概要（出演者の都合により、変更となる場合もあります）  
「2022年2月12日（土）ライブ配信プログラム（予定）」

【講演1】

蘇生ガイドライン2020口頭指導（仮）

【講演2】

指令共同の構築（仮）

【講演3】

救急車の適正配置から考える救急需要対策（仮）

【パネルディスカッション1】

新型コロナウイルス感染症傷病者への通信指令対応

【パネルディスカッション2】

映像通信システムなど新たな口頭指導の取り組み

【一般演題】

10 演題募集

○演題の分野は次の事項について広く募集します。

●指定演題

①パネルディスカッション（PD1）

「新型コロナウイルス感染症傷病者への通信指令対応」

②パネルディスカッション（PD2）

「新たな口頭指導の取り組み（映像通報システムを含む）」

●一般演題

①火災、救助、多数傷病者対応

②救急対応、口頭指導、連携

③感染症対策、その他

○演題応募先：<https://tushinsinpo4.com>

○演題募集期間 令和3年10月18日（月）～12月28日（火）

・発表抄録は500字～1000字程度を目安に記述ください。

・締切日まで内容は修正いただけます。

・今回はウェブ開催として当日オンライン配信及び後日にオンデマンド配信を行います。動画は、シンポジウム参加者以外は視聴できませんが、録画公開を前提に個人情報等の取り扱いについてはあらかじめ削除いただくなど配慮をお願いいたします。

11 備考

ウェブ開催となりますので、参加登録をいただいた方には、事前に配布資料及びプログラムを送付させていただきます（開催日近くに登録をいただいた場合は間に合わない場合があります）。

本シンポジウムでは、今回よりオンライン配信及びオンデマンド配信として映像アーカイブを視聴可能とするため、参加費を改定させていただきました。

なお、ご質問の際には、極力メールにて問い合わせをお願いいたします。

【連絡先】 第4回通信指令シンポジウム事務局 北小屋 裕

TEL：075-574-4172

メール：[jimukyoku@tushinsinpo4.com](mailto:jimukyoku@tushinsinpo4.com)

## ◆ ミズノ製シューズの特別販売のご案内

### 一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録事業者であるミズノ株式会社では、会員（消防職員）向けに、スニーカー、作業靴、キッズシューズ等を令和3年12月27日（月）まで、会員限定サイト上で特別価格にて販売いたします。

本件につきましては、令和3年11月25日（木）に各本部宛に会員限定サイトのご案内チラシをメールにて送付いたしました。

#### 【問合せ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

## ◆ 家庭常備薬等の斡旋について

### 一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録事業者である白石薬品株式会社では、会員（消防職員）向けに家庭常備薬等を特別価格にて年2回（5月、12月）販売しています。

本斡旋は1人分からお申し込みが可能で、昨年度は延べ3,771名の方にご利用いただきました。

令和3年12月の販売につきましては、11月号のほのお・会報便に申込書とご案内文等の資料を同梱し各本部宛に送付いたしました。

販売商品（一部）

商品名	斡旋価格	参考価格
プレコールかぜ薬錠	470円	2,200円
パテックスうすびたシップ	480円	1,078円
アスミン鼻炎薬	440円	2,310円

#### 【問合せ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0314）1ページ、機関誌「ほのお」2021年4号（4/25発刊）25ページ又は5号（5/25発刊）30ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 菅原

原稿データは、[kikachosei@fcaj.gr.jp](mailto:kikachosei@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字以内で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 菅原

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 浅倉

原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。